

2023年作詞方針について

祝日

(しゅくじつ)

いつもお聞きいただいております。

毎回苦労している作詞のお話です。

昨年2022年はすでに紹介しましたように「十干」をテーマにしました。

何もないところから歌詞を作るとはとても難しいので、今年2023年も年間テーマとして「祝日」をヒントに作詞してまいりました。

2022年の「十干」では「辛」のようにマイナスイメージのものもありました。そのためアルバム内での曲調がマイナー方向に限定されることもあって、2023年ではそのようなことがないように方針を決めました。その結果がこれです。

年間テーマなので季節の移ろいも大事で、他にも「風物詩」とか「二十四節気」とか候補はありましたが、「祝日」が多方面の展開がありそうで面白そうだと考えました。

ところが実際にやってみると「建国記念日」「秋分の日」「文化の日」は歌詞が思い浮かぶものが何もなく無理やりにこじつけたところもありました。

元日	成人の日 成りきれない	建国記念の日 たてなおし	天皇誕生日
春分の日 彼岸西風	昭和の日	憲法記念日	みどりの日 みどり
こどもの日	海の日 蒼茫	山の日 やまなみ	敬老の日 敬愛
秋分の日 おりかえし	スポーツの日 躍動	文化の日 よいかたち	勤労感謝の日 感謝

2年間、年間テーマを決めてやってまいりましたが、このやり方だと計画的に進められるところは良いのですが、逆にノルマを与えられたようでしんどいところもありましたので来年2024年は年間で決めないようにします。アルバムごとに都度テーマを決めて進めることは変えませんが。

今後ともよろしく願いいたします。

yassho